

学術知共創プログラム

- ◆課題：「将来の人口動態を見据えた社会・人間の在り方」
- ◆研究テーマ：「人口動態予測に基づく空間格差の解消に向けたシナリオ」

研究期間：R6.7～R12.3
委託費総額：93,470千円

＜研究代表者＞

蕭 耕偉郎：東京大学大学院工学系研究科／准教授



＜専門分野＞
都市空間論、ジェントリフィケーション論
＜Webページ＞

<https://researchmap.jp/7000023007>
https://www.urban.t.u-tokyo.ac.jp/m_fr.html

＜研究目的・概要＞

・都市に遍在する「空間格差」の課題が存在



精確な将来人口予測を踏まえて、起きうる空間格差への抜本的な対処策を提示

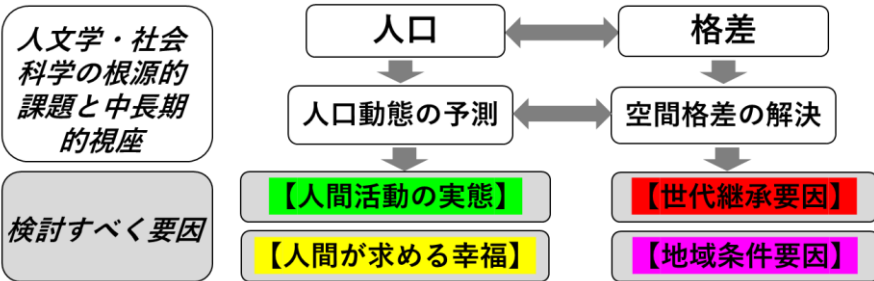
- ・【人間活動の実態】や【人間が求める幸福】から、人口動態予測モデルを独自に構築。
- ・【世代継承要因】と、【地域条件要因】から空間格差のメカニズムの解明を図る。



実都市の空間格差の解消や、新たな人口動態予測モデルの構築方法論に貢献する。

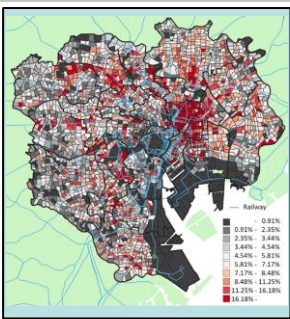
＜研究計画の特徴＞

・図示の理論的枠組みと異なる外国人受入シナリオのもと、空間格差の対処策を検討



＜目標とする研究成果＞

- (1) 対象都市の起こりうる空間格差を可視化する。
- (2) 将来人口予測シナリオのもと、空間格差解消への異なる政策対応を提示する。
- (3) 将来人口動態予測と、将来人口動態の変化によって起こりうる空間格差の解消に向けた体系的な学術知を共創する。



＜将来展望＞

人口動態予測を踏まえた空間格差の解消に関する方法論と国際的学問分野を確立。